

# [dōnk]

DONC どんく

発行

三重日仏協会

SOCIÉTÉ FRANCO-JAPONAISE DE MIE

事務局 徳市東丸之内21-4 オーデンビル

3F / Siege : Oden Building 21-4 Higashi-

Marunouchi Tsu JAPON ☎ 0592 (26) 3159

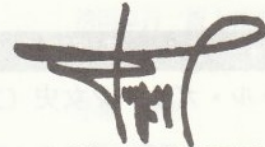
N° 27 Janvier 1994 SOCIÉTÉ FRANCO-JAPONAISE DE MIE

## 「日仏友好に中心的役割を…」

トランキエ総領事より新年のメッセージ

Il m'est particulièrement agréable d'adresser, par l'intermédiaire du magazine "DONC", mes meilleurs voeux pour 1994 à tous les membres de la Société franco-japonaise de Mie dont tout le monde connaît le dynamisme exemplaire.

Cette Association joue, en effet, dans la préfecture de Mie un rôle essentiel dans le développement et l'approfondissement des relations avec la France, ce dont je ne peux que me féliciter et la remercier.



Michel TRINQUIER

三重日仏協会会報「DONC」を通じ、協会員の皆様方に新年のご挨拶ができますことは、私にとりまして大いなる喜びでございます。

三重日仏協会のダイナミズムは、万人の認めるところでございますが、事実、フランスとの友好関係を発展、深めることにおいて中心的な役割を果たしておられます。皆様方のご活躍に称賛と感謝の意を表し、ご挨拶とさせていただきます。



大阪・神戸駐在フランス総領事

ミシェル トランキエ



# FÊTE D'AMITIÉ FRANCO – JAPONAISE À KANAZAWA

前号でお知らせしたように、さる10月金沢市で『日仏友好祭』が開催され、あわせて全国日仏協会会長会議も開かれました。三重日仏協会からも参加しましたので、報告をかねてそのハイライトをお伝えします。友好祭の二つの大きな柱は、1. 都市環境問題と2. 日仏交流でした。

## 記念講演

フランソワーズ・モレシャンさん

### 「美しい国・美しい町」

〈日本人とフランス人も、それぞれのアイデンティティー (identité) をもってこそ、正しく交際ができる。〉〈町並みや景観を観るとき、私はその人たちのアイデンティティー、歴史、そして美意識を重視する。〉〈自分たちの歴史をきちんと判断することが大切。細川さんが自国の「侵略」を認めたことで、日本の株は国際的に10倍ほど上がった。〉〈日本建築は木造だからヨーロッパのように保存できない〉というのはまちがいだ。フランスの石造りの建物もちゃんと保存するためには大変な努力をしている。木造でもやれば出来る。〉



講演するモレシャンさん

## 環境フォーラム・基調講演

クレール・ガリアン女史 (工学博士 都市計画専門)

### 「パリの都市再生—グラン・プロジェについて」

〈大革命200周年イベントの支柱であるグラン・プロジェは、大建築イベントとしてパリの新しい風景を生み出すとともに、首都の文化および経済活動を左右する大きな出来事であった。〉〈それは「もうけ」を追求する経済界主導ではなく、市民のスペースを重視した国と市の公共主導のプロジェクトだった。〉〈パリの古い歴史、町並みを守りながら新しい建物と街を開発した。アイデンティティーを守りつつ、新しいアイデンティティーを確立していくのだ。〉

## 日仏親善交流フォーラム・基調講演

オリビエ・アンサール氏 (日仏会館フランス学長)

### 「両国を結ぶ異なる価値観」

〈クレソン前首相は「日本人は働きアリ」と言って問題になったが、大体あの方は口がわるく、フランスの公務



員のことを「ウジ虫」と言って物議をかもしたこともある。〉〈日仏関係はいろいろの側面があるが、全体して物足りない。ただ文化の面や草の根交流では評価できる。その点で全国30余の日仏協会の役割は大きい



日仏親善交流フォーラム

と思う。〉〈日仏の一般国民の互いの認識には問題がある。あい変わらず日本人は「フランスでは英語は通じない。フランス人は働かない」と思い、フランス人は「日本人は非人間的なロボット、柔順なサラリーマン」と考える。こうした認識の形成には両国のマスメディア（取材者の価値観）の責任が大きい。〉〈両国民はお互いに異なる価値観を認めあい、尊敬しあうとともに、最低限の共通の価値観をどうしても作りあげる必要がある。〉

\* \*

友好祭には在日フランス大使や総領事、日仏会館館長、ナンシー市の日仏協会メンバー、F.モレシャンさんなど、多くのフランス側ゲストと、石川県副知事、金沢市長などの来賓のほか、全国から日仏協会の代表ら

本の歌曲と日仏友好の唄



シャンソン歌手ピエールジルもとび入りで一曲 (記念パーティ)

が参加し、二日間にわたって多彩な催しをくりひろげました。

それをすべてまさにparfaitなマネージをしたのが、金沢日仏協会のメンバーでした。こんなことが三重日仏協会のできるかなと、ただ感心しましたが、県や市の援助を含めて費用が約1,000万円とうかがって二度びっくりしました。

(事務局長・井土)

## 小堀先生よりの寄贈書籍・目録

前号で紹介した「小堀文庫」のリストを掲載します。ご利用ください。詳細は事務局まで。

### その1 日本語の書籍

#### 現代フランスの思想

…サルトルからフーコーまで…

大修館

ジャン＝リュック・シャリュモー著

加藤晴久訳

#### 現代フランス思想への誘い

…アンチ・オイディプスのかなたへ…

市倉宏祐著

岩波書店

パリ感覚…都市を読む…

渡辺守章著

岩波書店

ラベルズ世界周航記 日本近海編

小林忠雄訳

白水社

ヒロシマ、私の恋人 かくも長き不在

筑摩書房

マルグリット・デュラス著

清岡卓行 阪上脩訳

アラビアの旅から〈砂漠にて〉

小堀 巖著

未来社

フランスの何が優秀か

日本技術留學生が見たその将来

サブテク 編著

サイマル出版会

フランス・ビジネスガイド

増田一美 稲生永著

有斐閣ビジネス

## まつり博・三重'94 ボランティア通訳を募集

7月22日から11月6日まで伊勢市朝熊山山麓で開催される 世界祝祭博(まつり博)では、国内外の外国人を暖かく迎えるために、各国語のボランティア通訳を募集しており、三重日仏協会へも協力の要請がありました。

期間中、5日以上、活動できることが条件で、会場内の服装と若干の食費・交通費が支給されます。

フランス語を勉強している会員は、勇気をふるって応募して下さい。詳細は事務局まで。



2/19 大阪大学・柏木教授（三重県出身）の講演会

『フランスの詩・日本の詩』

三重日仏協会の今年度後半の事業として下記のような文学講演会を開催します。一般にもわかりやすいお話をお願いしますので、ぜひご来聴ください。入場無料。

2月19日（土）午後3時

津市桜橋 教育文化会館（津駅の東、徒歩約5分）

**柏木隆雄先生** 1944年松阪市生まれ。松阪工業高校を卒業して住友金属に入社。2年後退社して大阪大学文学部に入学（フランス文学専攻）、75年同大学院博士課程修了。神戸女学院大学助教授を経てパリ第七大学留学、82年同文学博士。現在大阪大学教授（フランス文学講座）。

主な著書 La trilogie des Célibataire d'Honoré Balzac (Paris, Nizet 1983) ほか。

現在 月刊ASAHIに平成巷談「人間喜劇」を連載中。

〈上田敏の訳詞や荷風、それに中原中也の詩の有名なものと、フランスの有名な詩を重ねて話してみたいと思います〉

〈ドミニク・ドゥーセの店〉桑名にも開店

92年5月鈴鹿市に念願のパンとケーキの店を開店したドミニク・ドゥーセさんは、去る11月15日、早くも第2号店を桑名市に開き、こちらも好評を博しています。昨年からはドミニクのほかにアラン・クエさんというベテラン職人が加わり、田舎風のパン・ドカンパーニュもパン通に喜ばれています。桑名店は大山田団地のメインストリートに面してできた『クオレ大山田ガーデン』にあります。（☎0594-32-1611）



津の長田さん 名誉あるソムリエ・コンクールで健闘

本会の運営委員でソムリエの資格をもつ長田康二さん（酒店経営）は、去る11月末東京の都ホテルで開催された、フランス食品振興会主催「全国ソムリエ最高技術賞コンクール」に出場、フランスの一流ソムリエや醸造専門家などそうそうたる審査員の前で各種の演技を披露しました。このコンクールは日本で二年に一度開かれるもので、全国1,600人のソムリエ有資格者のなかから、われこそはと自信のある人が地区予選（4地区）に参加、これを通過した20人だけが東京の本選に招待されるという難関。長田さんは大阪地区予選で50人余の腕利きのなかから7人という狭き門を突破、本番では一流ホテル、レストランのソムリエたちに伍して健闘しましたが、惜しくも入賞は逸しました。

最近 本会へ贈られた書籍

●JE VAIS EN FRANCE. 1993

（フランス大使館より）

●《日本の伝統的職人芸の作品》カラー写真入り

（笹川日仏財団より）